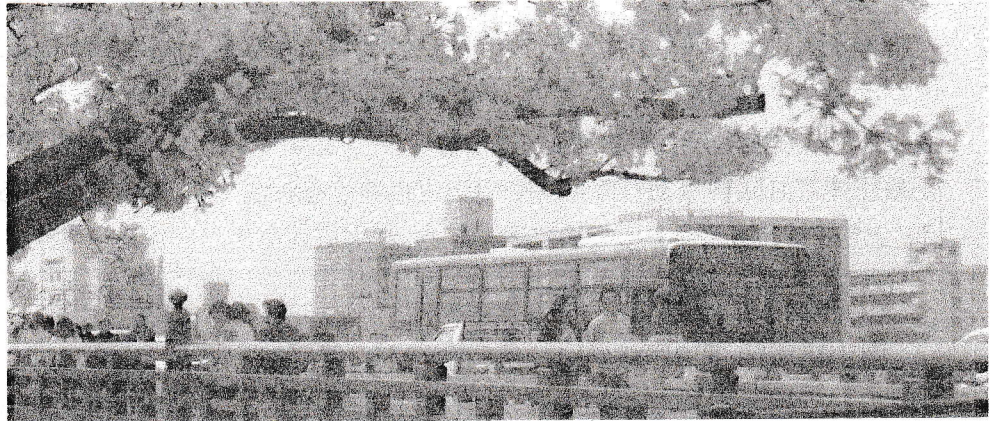



 ～酒と遊びと公共交通

■春はお花見。やうやう紅くなり
 ゆく我顔すこし火照りて、杯止まら
 ず果ては大いびきかきたる…。

なんて冗談も出てくるようなウキウキ
 する季節となりました。お花見は古来
 より伝わる日本を代表するお遊びでは
 ないでしょうか。岡山市内でも数多く
 のお花見スポットがあります。ただ市
 内を代表するというお花見スポットで
 も、「旭川さくら道」や「半田山植物
 園」のように公共交通機関が整備され、
 便利なスポットもあれば、足守の「近
 水園周辺」や「たけへの森」などのよ
 うに自家用車を利用しなければ不便な
 スポットもあります。

■青い空と薄桃色の桜の下でお弁当。
 こんな開放的なシチュエーションでは、
 「なんだか、お酒が飲みたくなる～♪」
 というのはつきものです。でもそこで
 気をつけていただきたいのが飲酒運転。
 近年多くの企業や団体で飲酒運転撲滅
 運動を行っています。年々活発になっ
 てきてはいますが、最終的には個々の
 意識に頼るだけでなく、飲酒運転をさ
 せない・する必要のない環境整備も必
 要ではないでしょうか。「公共交通機
 関が不便又は廃止されたから、車を使
 わざるを得ない」という地域が日本で



は増加の傾向にあります。勿論日常生
 活での移動手段は自家用車で、飲酒を
 する際は運転しなければ特に問題がな
 いかもかもしれません。でも自家用車を使
 う割合が高くなればなる程、交通事故
 発生率が高くなるという問題がありま
 す。つまり飲酒運転や交通事故という
 社会問題を解決するには、公共交通機
 関の整備が絶対不可欠だという事です。

■しかし今日の社会では公共交通整備
 事業には費用がかかるという理由等で、
 大都市を除いてはあまり積極的に取り
 組まれていません。でも本当に費用が
 かかる事業なのでしょう。鉄道空白
 地帯に新規に高架の線路を敷くとか、
 トンネルを掘るなどとなると確かに莫
 大な費用を要するでしょう。しかし現
 存する鉄道・路線バス・タクシー、さ
 らに代行サービスなども含めた公共交
 通を効果的に連携させることを目指し

て既存施設の改良・拡充を中心とした
 インフラ整備事業を行うのであれば、
 それ程莫大な費用は要しないと思いま
 す。そもそも公共交通機関が整備され
 る事は無駄な事業ではありません。生
 活の足が確保され、飲酒運転や交通事
 故を減少させるという施策は、誰もが
 望む大切な事業ではないでしょうか。

■「飲んだら乗るな」と言うのが常識
 の中、「飲むなら“ぜび”乗ろう」と
 いう乗り物があります。それが昨年から
 RACDAがMOMO電車でやっている
 ワイン電車&ピアガー電です（この部
 分はちょっと宣伝）。MOMOのワ
 イン電車&ピアガー電のような「お電車
 遊び」が全国に広がり、お花見のよう
 な日本を代表するお遊びとなる日を夢
 見ながら・・・春の午後、うとうと夢
 見心地。 [文：安藤 亮]

RACDA、NPO法人化が決定 ～2009年総会～

3月22日、2009年度のRACDA 総会が開かれました。今回の総会には RACDA のNPO法人化の決定という大事な目的があり、前半で任意団体としてのRACDA の総会をやり、後半で法人化予定の“新”RACDA の設立総会を行いました。“新”RACDA の設立総会では法人化申請に必要な団体の定款、予算書、事業計画書等が承認され、NPO化が決定しました。行政機関の手続きを経て、うまくいけば4ヶ月ほどでNPO法人としてのRACDA が発足することになります。

NPO法人化してもこれまでのRACDA の活動に大きな変化があるわけではないです。ただ、RACDA がこれまで以上に大きな役割を持った活動をしようとする、今までの任意団体では限界があります。「NPO法人化をする」ということは「社会をよくするために活動する、社会によって

【設立総会】役員との紹介場面



支えられた非営利の法人です」と宣言する事ですから、活動資金の調達や団体の信用の向上といった面ではこれまで以上に期待できます。しかし、同時にNPO法人には社会から託された責任に応える役目があるわけで、これが団体の信用につながっています。

これまでの良さを失うことなく、良きNPOとしてさらに信頼される団体になることがこれからのRACDAに求められます。

住民・利用者を守るバス停

岡山市東部、旧2号線沿いの長岡団地バス停が地域の力で再生され、3月25日に近所のバス利用者、協力事業所の方たちでささやかなお祝いの会が開かれました。RACDA が提唱する地域でバス停を支える「バス停アダプト」の趣旨に賛同した市民グループ「いかしあいのWA!!」が、行政や地域での調整を重ね、住民パワーを助けて実現したものです。

バスがなごみの花壇に発着。



雑草におおわれた花壇に、近隣の園芸店が花苗を提供し、インターネットで呼び掛けられた市民も球根などを持って植付け作業の応援に駆けつけました。

単に荒れた空間がきれいになったというだけでなく、心を和ませる出会いの場となってきています。

「地域の玄関口であるバス停が、地域の人々によって守られ、若者や子どもたちに引き継がれていけば、地域全体があたたかくなり、助け合い、活かし合える HAPPY コミュニティになると思う。それが日本中・世界中に広がってほしい」と、発起人住民の弁。

ワイン電車&ビアガー電

ヨーロッパ生まれのお洒落な路面電車「MOMO」の車内で、おいしい食事とアルコールを嗜む事ができる日本ではまだ数少ない「ビストロ電車」です。ワイン電車は **4月24日(金)・5月15日(金)**、ビール電車は6月から8月にかけて運行を予定しています。出発は夜の帳が下りてからとなりますので、岡山の街灯りを車窓に見ながら、木のぬくもりあふれる車内で、岡山ならではの遊びをお楽しみ下さい。(申し込みは岡山電気軌道 086-272-5520へ)

今回のワイン電車も MOMO 特別食は EX CAFÉ さん担当です。

岡山産ワイン
(サッポロワイナリー)

